

平成 28 年 1 月

甲状腺癌取扱い規約(第 7 版)における 判定区分変更について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、この度、平成 27 年 11 月に日本甲状腺学会から「甲状腺癌取扱い規約
(第 7 版)」が上梓され、細胞診が新しい報告様式へと変更になりました。
取り急ぎご案内致しますので、宜しくお取り計らいの程お願い申し上げます。
敬白

***** 記 *****

■変更内容

新 判定区分	旧 判定区分
検体不適正	検体不適正
嚢胞液	良性
良性	
意義不明	鑑別困難
濾胞性腫瘍	
悪性の疑い	悪性の疑い
悪性	悪性

※詳細は裏面をご参照下さい。

■変更期日

平成 28 年 2 月 1 日 (月) 受付分より

以上

16-0136

甲状腺細胞診の診断カテゴリー

新判定区分	所見	標本・疾患	旧判定区分
検体不適正 (Unsatisfactory)	細胞診断ができない	標本作製不良 (乾燥、変性、固定不良、末梢血混入、塗抹不良など)。病変を推定するに足る細胞あるいは成分 (10個程度の濾胞上皮細胞からなる集塊が6個以上、豊富なコロイド、異型細胞、炎症細胞など) がない。	検体不適正
嚢胞液 (Cyst Fluid)	嚢胞液で、コロイドや濾胞上皮細胞を含まない	良性の嚢胞に由来する。まれに嚢胞形成乳頭癌が含まれることがある。	良性
良性 (Benign)	悪性細胞を認めない	正常甲状腺、腺腫様甲状腺腫、甲状腺炎 (急性、亜急性、慢性、リール)、バセドウ病などが含まれる。	
意義不明 (Undetermined Significance)	良性・悪性の鑑別が困難、他の区分に該当しない、診断に苦慮する	乳頭癌の可能性がある (乳頭癌を示唆する細胞が少数、腺腫様甲状腺腫と乳頭癌の鑑別が困難、橋本病と乳頭癌の鑑別が困難)、特定が困難な異型細胞が少数、濾胞性腫瘍と乳頭癌の鑑別が困難、橋本病とリンパ腫との鑑別が困難、などが含まれる。	鑑別困難
濾胞性腫瘍 (Follicular Neoplasm)	濾胞腺腫または濾胞癌が推定される、あるいは疑われる	多くは濾胞腺腫、濾胞癌である。好酸性細胞型や異型腺腫を推定する標本も含まれる。腺腫様甲状腺腫、濾胞型乳頭癌、副甲状腺腫のこともある。	
悪性の疑い (Suspicious for Malignancy)	悪性と思われる細胞が少数または所見が不十分なため、悪性と断定できない	種々の悪性腫瘍および硝子化索状腫瘍が含まれるが、その多くは乳頭癌である。乳頭癌を疑うが濾胞性腫瘍が否定できない標本も含まれる。良性疾患で含まれる可能性のあるものとしては、異型腺腫、腺腫様甲状腺腫、橋本病などがある。	悪性の疑い
悪性 (Malignant)	悪性細胞を認める	乳頭癌、低分化癌、未分化癌、髄様癌、リンパ腫、転移癌などが含まれる。	悪性